

令和7年度 第1回学校運営協議会が開催されました！

地域の皆様におかれましては、日頃、境西中学校の教育活動にご理解ご協力をいただきまして、ありがとうございます。本年度も、保護者の皆様、地域の皆様と学校運営に対する当事者意識を分かち合い、ともに行動する体制を構築していきます。この学校運営協議会は、学校の良きパートナーになるものであり、校長先生が描く学校のビジョンを共有し、校長先生のリーダーシップのもとに実現を目指します。今後も一緒に協働しながら、子供達の豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進めていきます。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

☆本年度の目指す子供像・地域像と境西中学校運営協議会委員です。どうぞよろしくお願いいたします。

剛志地区目指す子供像： 自ら考え、判断し、決定し、行動する子供
剛志地区理想の地域像： 「自律」した大人が暮らすまち

氏 名	職名等		氏 名	職名等	
金子 美咲	PTA書記	新規	〇高木 幸喜	元PTA会長	継続
半田 志乃	PTA会計	新規	小牧 幸恵	元PTA会長	新規
関口 正美	区長会代表	継続	森村 尚之	青少年推進委員	継続
永井 芳穂里	民生・児童委員代表	継続	町田 修	境剛志公民館長	継続
佐藤 佳代子	元境西中学校教諭	継続	野村 聡子	境剛志小学校長	新規
◎中島 直人	元滝蓮第二小学校校長	継続	藤本 裕一	境西中学校長	新規

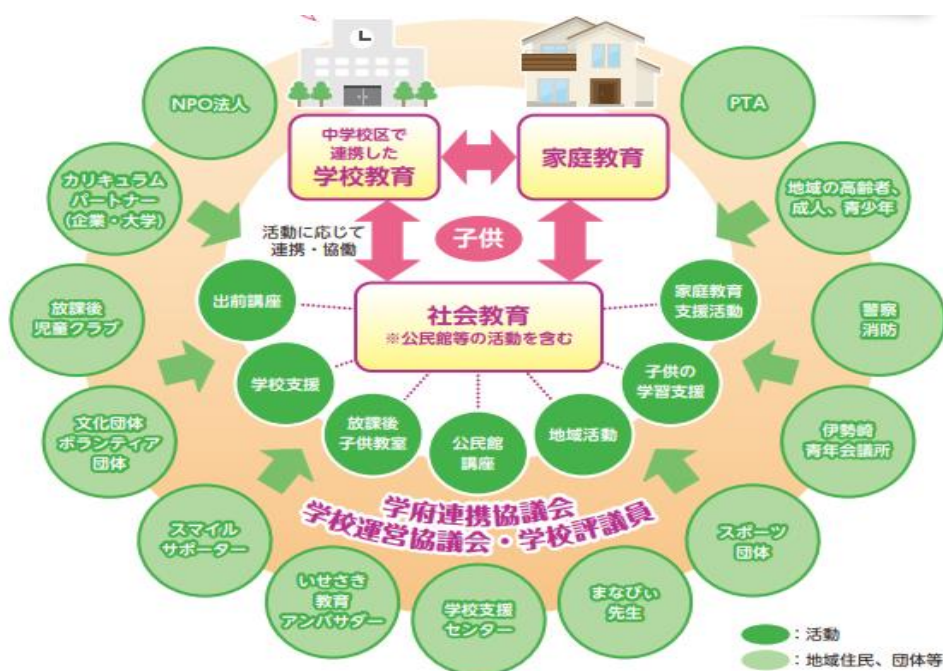
事務局 茶畑 匡仁（伊勢崎市教育委員会）
日暮 由貴（境西中学校教頭）
今 聡子（境西中学校校務支援員）

森戸 賢多（伊勢崎市教育委員会）
久保田 雅彦（境西中学校教務主任）

（敬称略）

◎会長 ○副会長

また、伊勢崎市では、学校と地域が組織的に連携・協働し、ふるさと伊勢崎を担う、高い志を兼ね備えた人材を育てる『学府制』というものを、中学校区単位に行っています。剛志地区では、「学府連携協議会」を公民館を中核にして、剛志小を含めた地域と、連携・協働した人づくりを行っています。境西中学校運営協議会と同時開催で、定例会を開いています。今後も定例会の活動報告は、『剛志学府だより』でお伝えします。



（「伊勢崎学府制」による地域と連携・協働した人づくりより）

第1回境西中学校運営協議会・剛志学府連携協議会活動報告

- 1、ビジョン共有のための協議、承認
(1) 令和7年度 境西中学校学校経営について

学 校 教 育 目 標：笑顔あふれ活力ある生徒の育成	
学校経営の重点の中で特に意識していくこと	・教職員皆で同じ方向を向いてゴールを共有し、役割分担で対応する。 ・生徒理解に努め、生徒のつぶやきをつかんだ学習指導、生活指導、部活動指導、不登校生徒への対応を行う。 ・保護者、地域との信頼関係の確立。 ・ <u>生徒が主役の学校</u> を目指し、生徒の自律と共生に向けた積極的な指導と支援を行う。
今後の課題	生徒数が少なく、特に現1年生は小学3年生から単学級であり、限られた人間関係しか経験していない。 <u>異学年交流を意識した学校行事や部活動体制を考えていかなければならない。</u>

- 2、剛志学府連携協議会より
(1) 小学校の現状について

めざす児童像：“元気”“やる気”“勇気”漲る未来を見据える子供	
剛志小の現状	・授業参観、教育相談、引き渡し訓練などの大きな行事が5月中に終わり、6月に入ってから落ち着いた生活をしている。 ・基礎・基本を身につけ、自ら課題に取り組み進んで学習できる子を目指すため、タブレット学習ありきではなく、体験学習（最近では、御嶽山でホタルの放流体験）や、友達と意見を伝え合う活動を取り入れた子供同士の学び合い学習等を上手に取り入れた、効果的な授業を行っている。
今後の課題	4月に1年生を33名迎え、現在全校児童が255名である。1、2年生とも現在は2学級だが、3年生になると、単学級になる予定。様々な事を学ばせ、外に向けて活躍できる子供を育てたい。

- (2) 公民館の取り組みと今年度の活動事業予定

令和6年度小・中学校と連携して取り組んできた事業	・夏休みポスター制作教室、夏休み子ども花結び教室…境西中美術部生徒がアシスタントとして参加。 ・剛志地区住民交流会（住民運動会）…小・中学生が放送係として参加。 ・剛志地区米寿・喜寿祝賀行事への協力…小学生が対象のお年寄へメッセージカードを作成。 ・小・中学校ジャージ・制服等リサイクル事業…回収数151点 配布数76点 ・フードドライブ活動…小・中・公民館で収集し、令和6年度の剛志学府からの搬入重量は44.3kg。 食品ロスへの関心、助け合いの心、小さな行動が社会の役に立つ体験となった。 <u>☆令和7年度フードドライブは、10/16（木）・17（金）と、2/17（火）・18（水）を予定しています。</u>
--------------------------	---

- 3、その他 境西中の部活動のあり方についての意見交換

昨年度の定例会から議題に上がっている部活動のあり方について、委員の皆様のそれぞれのお立場から、忌憚のない大変貴重なご意見をいただきました。

色々な考えがあると思いますが、成績重視なのか、楽しさを優先するのか、活動方針を年度初めに決めてもらえると、生徒も納得できて良いと思います。

50年前の境西中は、運動部文化部の両方に入部可能でした。成績だけでなく、好きな趣味にも夢中になって、良かったです。



中・高生の時代は、心身を磨き伸ばす意義の大きい大切な時期です。生徒数の少ない境西中は、体力・技術向上以外にも、部活動は異年齢交流となる大切な活動です。今後、適正な種目や数を精査していきます。

合同チームや拠点校制度など、活躍の場ができ、新しい人間関係もできそうですが、練習や試合の参加の仕方に少し課題もありそうです。

公民館講座（ダンス）を受講している中学生がいます。部活にない種目は、公民館で楽しむのも良いかもしれません。

部活動で学べる事は多く、部活動に救われる子は多いので、部活動が存続できるよう、多様な考えで、今後検討していかなければならないと思います。

娘は高校でも部活動を続けています。大変な事もありましたが、中学での経験があって、今がある。壁や問題を乗り越える力をつけるためにも、部活動は大切だと思います。